

口絵 3 : インドネシアスマトラ島北部バンダアチェにおける 2004 年スマトラ島沖地震津波調査  
Pictorial 3 : Tsunami Field Survey of the 2004 Off-Sumatra Earthquake in Banda Aceh,  
Rorthern Sumatra, Indonesia

2004年12月26日にスマトラ島北西沖で発生した地震 (Mw 9.0) に伴う津波の痕跡調査を、2005年1月17日から2月1日までインドネシア、スマトラ島北部、ナンゴロアチェ・ダルサラム州の州都バンダアチェ (Banda Aceh) 周辺にておこなった。調査地域は震源近くに位置し、今回の地震津波による最大被災地のひとつである。その津波波高および遡上高や浸水域の状況を把握することは、津波浸水域に関する将来予測を行う上で極めて有用である。

国際津波調査団は東京大学地震研究所の都司嘉宣助教授をリーダーとする日本人7名、米国人2名、インドネシア人6人の計15人から構成された。現地では4つのサブグループに分かれ、津波の被害状況、津波の規模や襲来時刻についての聞き取り、建物や木などに残された痕跡に基づく津波の波高や遡上高、および浸入方向の測定、津波堆積物などの項目に関する調査が実施された (本文速報参照)。



写真 1 バンダアチェ市街地の様子。



写真 2 バンダアチェ市街地の様子。



写真 3 バンダアチェの北海岸 (Ulee Lheue beach) 近くの被災状況。すべての建物が破壊され、流失している。



写真 4 バンダアチェの北海岸 (Ulee Lheue beach) 近くの被災状況。ほとんどの建物が破壊され、流失している。



写真 5 ロックガ地区西海岸 (バンダアチェ市街地より約 15 km 南西): 津波によって転覆もしくは陸上に打ち上げられた船舶。



写真 6 ロックガ地区西海岸: 津波による被害を受けたセメント工場。



写真 7 ロックガ地区西海岸：津波で流失した橋の残された橋脚。



写真 8 ロックガ地区西海岸：津波によって削り取られた山肌。



写真 9 ロックガ地区西海岸：津波によって壊滅状態となった沿岸域。



写真 10 ロックガ地区西海岸：津波によって打ち上げられたサンゴの塊“津波石”。



写真 11 ロックガ地区西海岸：津波によって形成された砂質堆積物“津波堆積物”



写真 12 ロックガ地区西海岸：津波によって形成された砂質堆積物“津波堆積物”